

11. その他中心市街地の活性化に資する事項

(1) 基本計画に掲げる事業等の推進上の留意事項

第3期基本計画では戦略方針の1つ目として、交流人口を増やすために、電車など公共交通機関を利用して本市を訪れる人が、高崎駅から歩いて行けるエリアで買い物や宿泊、親子の時間などを楽しめるよう、「高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業」、「再開発と一体となったまちづくり検討業務」等を実施し、都市集客施設の整備・活用を積極的に推進します。

2つ目に、まちなか居住の誘導・促進を図るために、高度利用地区の指定や容積率の緩和などの制度化により高層マンション等の建設を促進する「高崎市居住誘導策」などを積極的に推進します。

3つ目に、まちなかの魅力向上のため、第2期基本計画期間中、多くの店舗等が活用して個店の魅力アップにつながった「高崎市まちなか商店リニューアル助成事業」などについて、より効果的に支援できるよう、継続して推進します。

4つ目に、中心市街地の回遊性を高めるため、「高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業」の実施を踏まえ、交通弱者や雨天時にも配慮し、駅周辺からその周りの商店街まで、乗り降り自由、無料で利用できる「お店ぐるりんタクシー運行事業」などを、積極的に推進し、中心市街地の活力と賑わいを区域全体に波及させます。

(2) 都市計画等との調和

本市のまちづくりにおける関連計画の概要は次のとおりで、第3期基本計画におけるまちづくりの方向性と調和・整合しています。

<1>高崎市第6次総合計画（2018年度～2027年度）

■都市づくりの基本戦略

～高崎駅を拠点とした発展～

高崎駅周辺の役割と機能を最大限に生かし、高崎発展の第一の拠点として、さらなる都市機能の集積を図ります。特に高崎駅周辺の商業地域では、マンションを建設しやすくするため、容積率を緩和する区域を指定する等、駅周辺の人口増を図り、公共交通機関を生かしたまちづくりを進めていきます。

多くの人々が集まり新しい都市文化や経済活動を生み出すような、にぎわいと躍動感あふれるまちづくりを推進します。

■高崎地域の振興の方向

～総合的な都市機能が集積する拠点ゾーン～

高崎駅を中心とした都市基盤の整備、特に、駅東西の大型商業施設、高崎アリーナ、高崎芸術劇場及びパブリックゾーンを備えた複合施設の整備による、新しい都市機能の集積、さらには群馬県が整備するGメッセ群馬との連携により、交流圏の拡大及び交流人口の増加を図ります。

■主要施策・都市機能の充実

中心市街地においては、高崎駅東口に高崎芸術劇場を柱とした本市の経済文化活動の拠点となるような複合型の都市集客施設の整備を進めます。また、Gメッセ群馬の整備と連携・協力し、本市の集客機能の充実を図り、集客の相乗効果を経済の活性化につなげます。それと同時に、マンション建設を促進するため、高崎駅周辺の容積率を緩和する施策を進め、高崎市の人口増加にもつなげます。

< 2 > 高崎市都市計画マスタープラン（平成 23 年 3 月改訂）

■ 地域別構想と地区別構想（高崎地域都心地区）中心商業地

- ・ 都心地区の中心商業地は、商業・業務地として高度化を図るとともに、都心居住を推進し、賑わいと魅力ある中心市街地の形成を目指します。
- ・ 高崎駅周辺及び中心市街地では、土地区画整理事業、市街地再開発事業などを推進し、土地の有効活用を図ります。
- ・ 高崎駅東口周辺はコンベンション、ビジネス、ショッピング、居住などの都市機能の充実を図るため、商業・業務地の高度化を誘導し、快適で魅力ある拠点の形成を目指す土地利用を図ります。
- ・ 防火・準防火地域の指定などにより、地区の不燃化や耐火建築物の誘導を図ります。

< 3 > 高崎市立地適正化計画（令和 2 年 3 月公表）

■ 立地適正化計画の基本的な方向

都市づくりの方針

- ・ 高崎駅周辺の都心拠点について、既存商業業務機能や新たな大規模集客施設などの高次都市機能の集約強化、交流人口・集客人口の増加により、本市及び周辺都市を圏域とする広域拠点の形成を図る。

■ 都市機能誘導区域

拠点ごとの誘導施設の考え方 都心拠点

- ・ 都心拠点は、市域全体の発展を牽引する中核的エリアであるとともに、広域交流を実現する拠点としての役割を担うことから、市域全域及び近隣市町村を含む3次生活圈全体に便益を供するような高次都市機能の誘導を図ります。

高崎駅周辺地区（都心拠点）

- ・ 地区の特性

高崎駅周辺地区は、政治・経済・教育・文化などの総合的な都市機能が集積し、人・もの・情報などの活発な交流の場として、群馬県の中心的な役割を担っています。

- ・ 誘導区域の設定

都市計画マスタープランにおいては、おおむね高崎市役所周辺から高崎駅周辺を都心拠点として位置づけています。また、第3期中心市街地活性化基本計画においては、さらに駅東側の高崎芸術劇場やGメッセ群馬（高崎競馬場跡地）周辺までを計画区域としています。都市計画マスタープラン及び中心市街地活性化基本計画の区域を踏まえつつ、今後の土地利用における課題となり得る高崎市文化会館周辺や平面駐車場な

ども考慮して、都市機能誘導区域の範囲を設定します。

・拠点の形成

高崎駅を中心に大型商業施設、高崎アリーナ、高崎芸術劇場、Gメッセ群馬等の高次都市機能の集積により、交流圏の拡大、交流人口の増加を図るとともに、医療・金融・行政・福祉・子育てなどの生活利便機能の誘導も図ります。